

政策	12 安全で良好な水資源の確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	森林保全などの水資源の確保に努め、安全で良質な水の安定した供給が図られている。生活雑排水処理対策の推進が図られ、市民の快適な生活環境が確保されている。治水・利水・環境・景観等に配慮した河川環境が形成されている。						
成果指標	上下水道整備・管理市民満足度 5年間(H25～H29)で65.0%（現状値63.7%） 河川環境基準(BOD)達成率 5年間(H25～H29)で100.0%（現状値92.0%）						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定				65.00	
		実績	63.70			63.00	
	成果指標2 [%]	予定	92.00	94.00	96.00	98.00	100.00
		実績	92.00	89.00	93.00	93.00	
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	10,694,114	11,296,131	12,471,804	12,629,006		
	実績	9,857,711	11,342,784	11,920,820	11,351,408		
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	市民満足度の調査は平成28年度に実施した。河川環境基準(BOD)達成率については平成28年度の目標値に達していないが、単位施策については概ね目標とおり進捗している。					
	課題	基本施策目標値達成のために、単位施策及び各事業についての努力が必要。直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民啓発が必要。					
	取組方針	目標値達成のため、単位施策及び事業の実績向上を図る。					
外部評価	目指す姿として、安全で良質な水の安定提供、生活排水処理対策の推進、良好な河川環境の形成等に掲げられ、関連する3つの単位施策においては、概ね目標を達成しており、進捗は順調であると考えられる。 安全で良質な水資源の確保のためには、水源地の管理、河川環境、給排水施設等の施策の達成が必要で、特に給水管の耐震化、下水道の普及に努力して欲しい。 また、未達成が続いている「河川環境基準達成率」の改善を求める。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度	
	1201	上水道の整備・管理			4,323,572	100	
	1202	生活排水処理施設の整備・管理			7,001,171	100	
	1203	河川環境の整備・管理			26,665	100	

平成28年度 基本 施策評価表 補表

施策	12 安全で良好な水資源の確保		
区分	妥当性	妥当	安全で良好な水資源を確保するうえでは、有効であり欠かせないものである。
	コスト削減の余地	有	各単位施策内の事業を見直し、また、調整等を行うことで経費の削減が出来る。
	受益者負担	適正	負担の割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の目標達成への貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	各単位施策を進めることで成果も向上する。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		